

ISO通信

第2号

2023.11.20 発行

太田市立毛里田中学校

ISO 委員会

今回は学校の教育活動の中心である各教科等において取り上げる環境教育について、その一部を1学期の実践からご紹介します。

*

*

*

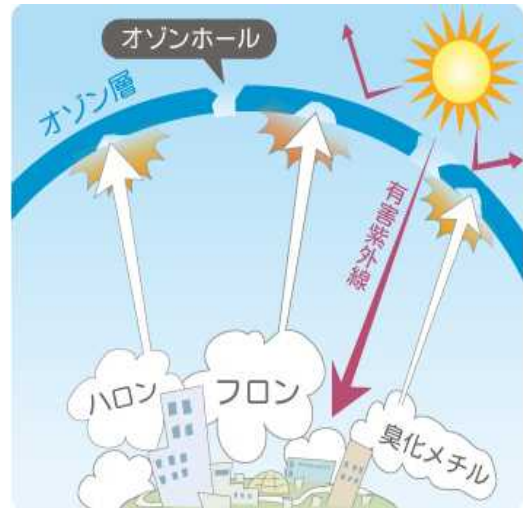
*

①「フロン規制の物語」～3年国語科

…… 20世紀初頭、冷蔵庫などで使われる冷媒(熱を吸収する人工的な物質)として、フロンという人工的な物質が開発、製造され、その後世界中で一世紀近くに渡って使用されてきた。しかし今日、そのフロンが原因で人類の命を守る大気のオゾン層を破壊することが分かり、これを規制する動きにつながってきている。……

国語科のこの教材では、環境問題の解決策を科学だけでなく、経済社会の維持や人間としての生き方も考えていくことが大切であることを読み取りました。これは環境教育で養いたい見方・考え方になります。

(参考)オゾン層の壊れるしくみ



②榛名自然観察会～1年総合の時間

1年の榛名高原学校では、それまで総合の時間で榛名の自然について調べてきたことを元に、講師の先生の案内で榛名山の成り立ちや榛名湖周辺の植物の特徴などについて学びました。



講師から説明を受ける1年生

生徒達は、榛名山が50万年以上前に最初の噴火が始まって以来、数度にわたる噴火を繰り返してきたという講師の説明に、自然の雄大さや悠久な時間の流れを感じたようです。また、榛名湖周辺を散策しながら年輪の粗密とその形成当時の気候との関係や、植物、動物間で影響し合っている榛名の生態系を成していること等を学びました。

こうした自然体験をしながら自然環境に親しみを持ち、これを守っていかこうとする態度を養うことができました。

③「化学変化と原子・分子」～2年理科

理科は省資源・省エネルギー技術の基礎的知識を与えてくれます。3年生はこの単元で、金属資源の多くは還元によって得られることを酸化銅から銅を取り出す実験で学んでいます。身近な例としては、アルミ缶回収があげられます。回収したアルミ缶は、溶解・加工してアルミに再生することができます。これはアルミの原材料の鉱石ボーキサイトから精錬する場合と比べ、安い電気代、水道料等で済みます。次世代の子ども達には、日本を科学技術の一流国に復活させてほしいものです。

